

# 家庭学習の手引き：3年生

## 主体的に学ぶ力を身につけよう



家庭学習では、自分から学習していく姿勢・習慣を身に付けていきます。テストに向けて自分の力を確かめたり、授業の内容を発展させたりする「自主学习」や、自分に必要な前学年の復習をしたり基礎基本を定着させたりするための「繰り返し学習」に組みます。



## 3年生では・・・

自立心が芽生えてくるとともに、自分でやろうとすることが多くなり、「やる気」や「根気」が育つ時期です。語彙（言葉）の習得能力が高くなり、抽象的な思考ができるようになってきます。理科、社会などの教科が増え、様々な学習からの視点が増えることで、「もっと調べたい」と思う子もいれば、覚えることや考えることに対し、「急に勉強が難しくなった」というとまどいや苦手意識を持つ子どもも出てきます。自信を持たせたり、意欲を高めたりするような励ましをお願いいたします。



## 学習の特徴

- ◇総合的な学習の時間や社会、理科の学習、外国語活動、毛筆の学習が始まり、内容も大きく広がります。
- ◇国語辞典や地図帳などの使い方を学び、自分で調べる学習をすることが多くなり自学自習の基礎を学びます。
- ◇算数では、四則計算（ $+$ ・ $-$ ・ $\times$ ・ $\div$ ）の基礎・基本を徹底して学ぶとともに、少しずつ抽象的な内容も学習していきます。
- ◇基礎的・基本的な内容を定着させると共に、友だちと考え合ったり、話し合ったりすることで学ぶ楽しさを感じ、自分に必要な学習を判断して自学自習する力につなげていきます。
- ◇タブレット端末を用いて調べ学習を進めたり、データを収集したりして、考えを表現します。
- ◇タブレット端末の基本的な操作ができ、自分の学習に応じて活用する力を育てていきます。

## 家庭学習を始める前に

- ◇学習をはじめる前に、テレビなど消して静かな環境を作りましょう。
- ◇勉強をする場の整理整頓をしましょう。
- ◇学習時間を決め、短い時間で集中してしましましょう。

（途中で、テレビをつけたり、おやつを食べたりしないようにしましょう。）



## 家庭学習の内容

自分に必要な教科・内容・量を、自分で考えて決め、学習する。

### 例えば…

- ★情景を思い浮かべながら感情を込めて読むなど、自分のめあてを決めて音読を練習する。
- ★漢字の構成や字形を意識して練習したり、漢字ドリルを参考に、新出漢字を用いた熟語を覚えたりする。ドリルに載っていない熟語を見つけたり、書いたりして語彙を増やしていく。また、分からない言葉や興味を持った言葉を国語辞典など使って積極的に調べたり、その言葉を使って文章を作ったりする。
- ★教科書の文章を視写(教科書と同じように写す)する。
- ★かけ算やわり算の筆算など、正しい計算手順が身につくよう、位をそろえて丁寧にノートを書く。
- ★習った計算を使って、問題作りをする。
- ★三角定規やコンパスなどを正確に操作できるよう、作図を繰り返し練習する。作図するときには、自分に合った方法だけでなく、問題にふさわしい方法でするなど、道具の良さを生かすようにする。
- ★授業で学習した内容で、疑問に思ったことやさらに調べてみたいことなどを、教科書や図鑑、インターネットなどを使って調べ、まとめる。
- ★テストに備えて、テスト範囲の復習をする。
- ★次の授業で学習する内容を、教科書をもとに確認し、自分の考えをまとめる等、予習する。

